

事務事業名		干潟造成事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業	
政策体系	政策名	01 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目	
	施策名	01 地域活力を担う水産業の振興					
	基本事業名	01 漁業資源の確保		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 ↓平成24 年度～平成30 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		会計 款 項 目 事業 01 06 03 02 29	
根拠法令				事務事業区分		A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)	
所属	部課名	農林水産部 水産課					
	課長名	鈴木 満広					
	係名	漁政係	電話	27-3111			
	担当者	中嶋 聖志	内線	373			
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)			
干潟は、沿岸水域に生息する生物の育成場であるとともに、水産資源の増大と沿岸域の漁場環境改善や生態系の保全に大きな役割を果たしてきた。大船渡湾内においては、古くから天然干潟によるアサリの漁獲が行われており、漁業者の所得安定に寄与してきた。 しかし、平成23年3月11日の東日本大震災により、地盤沈下したため、干潟としての適正な環境が失われた。このため、平成24年度から「水環境整備事業」として、大船渡湾内の適地において、干潟造成に向けた調査事業を実施し、基礎データの取得、今後の干潟造成事業化の基本方向の検討を進めてきた。 平成26年度より、調査設計結果を元に干潟整備を実施しているもの。 【事業概要】 ・事業年度／平成24年度～平成30年度 ・事業規模／干潟造成工 A=1.68ha				総投入量 (千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 484,723 地方債 その他 一般財源 323,275 事業費計(A) 807,998 正規職員従事人数 2 延べ業務時間 5,000 人件費計(B) 20,000 トータルコスト(A)+(B) 827,998			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
震災後から徐々に地盤が隆起していることを鑑み、平成28年度に再度測量調査を実施し、調査の成果に沿って干潟整備を行っている。		ア 調査箇所数	
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
昨年度施工した工区の繰越分及び、平成28年度に行った測量調査に沿った箇所の干潟造成。		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
湾内の干潟造成漁場(9箇所)及び漁業者		名称	
		単位	
		カ 事業対象漁場面積	
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
湾内のアサリ資源が安定的に確保され、漁業者の所得向上、経営の安定化が図られる。		名称	
		単位	
		サ 調査対象漁場のアサリ生息密度	
		シ	
		ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
干潟を整備しアサリの生育場所とすることにより、漁業資源が確保される。			

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度					
				27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円	39,600	76,800	251,323	117,000		
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	26,400	51,266	167,609	78,000		
		事業費計(A)	千円	66,000	128,066	418,932	195,000	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2		
		延べ業務時間	時間	1,000	1,000	1,000	1,000		
		人件費計(B)	千円	4,000	4,000	4,000	4,000	0	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	70,000	132,066	422,932	199,000	0	0
⑤活動指標		ア	箇所	10	9	9	9		
		イ							
		ウ							
⑥対象指標		カ	m ²	20000	16800	16800	16800		
		キ							
		ク							
⑦成果指標		サ	個/m ²	20	184	520	520		
		シ							
		ス							

事務事業ID	1563	事務事業名	干潟造成事業
--------	------	-------	--------

- (3) 事務事業の環境変化・住民意見等**
- ① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
震災による地盤沈下により干潟が水没したことから、干潟の整備が必要となった。平成24年度から、湾内に一定規模の人工干潟を造成することが可能かどうかを検証するため調査事業を開始した。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
平成25年度までに調査設計を終了し、平成26年度から施工開始している。震災後から徐々に地盤が隆起していることを鑑み、平成28年度に再度測量調査を実施し、調査の成果に沿って干潟整備を行っている。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
漁場環境の改善と湾内資源の回復・増大を図ることを漁業関係者から望まれている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	⇒ 3改革・改善方向の部に反映
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	⇒ 3改革・改善方向の部に反映
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	⇒ 3改革・改善方向の部に反映
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	⇒ 3改革・改善方向の部に反映
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	⇒ 3改革・改善方向の部に反映
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3改革・改善方向の部に反映
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3改革・改善方向の部に反映
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	⇒ 3改革・改善方向の部に反映

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																			
① 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) → 3 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特に無し	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×		×
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	●	×																	
低下	×		×																	

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	現状どおり継続して事業を実施する。